

虫を愛でる文化から問い直す人間の豊さ

2025年11月17日（月）

9:30-12:00（途中休憩10分） 参加申し込み不要

神戸大学鶴甲第二キャンパス B104

1. 佐賀達矢 企画説明（昆虫を愛でる文化と人々）
 2. 阿部真人 行動と文化の定量解析：昆虫から人間まで
 3. 坂本昇 昆虫館の活動から見る昆虫を愛でる文化
 4. 野中健一 <世界の昆虫関連文化と人々：検討中>
 5. 総合討論（指定討論者: 博士後期課程3年 平山楽）
- *総合討論は簡単なスナック（昆虫）を食べながら行います。



佐賀 達矢

人間発達環境学研究科 助教



阿部 真人

同志社大学文化情報学部 准教授



坂本 昇

伊丹市昆虫館 館長



野中 健一

立教大学文学部 教授

シンポジウムの趣旨：

近年、人間の心身の良好な状態を示すウェルビーイングは、社会的にも学術的にも重要な関心事となっており、本研究科においても中核的な研究テーマの一つとして位置づけられている。他方、生物多様性の保全の必要性が広く認識されているものの、その具体的な保全手法や人間と自然との望ましい関係性については、依然として明確な指針が確立されていない。理想的な自然共生社会の実現に向けては、過去から現在に至る人間と自然との関わりの歴史を検証し、そこから人間が享受してきた恩恵を包括的に理解することが不可欠である。

日本には、昆虫食や秋の虫の音色を愛でる習慣など、昆虫と深く関わる独自の文化的伝統が存在する。本シンポジウムでは、このような昆虫を愛でる文化について、国内外の事例や新たな実践を紹介するとともに、動物行動学から人間文化に至る多様な分野における分析事例を提示する。これらの知見を統合し、私たちの文化的豊かさを再考するための視座と方法論について学際的な議論を展開する。

問い合わせ：佐賀達矢 tatsuya.saga@people.kobe-u.ac.jp

主催：神戸大学大学院人間発達環境学研究科 共催：神戸大学サイエンスショップ